



会社名 武田薬品工業株式会社
代表者 代表取締役社長 長谷川閑史
(コード番号 4502 東証第1部)
報道関係問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部
Tel 03-3278-2037

News Release

2012 年 10 月 5 日

武田薬品による LigoCyte 社の買収を通じたワクチン事業の強化について

当社は、LigoCyte Pharmaceuticals, Inc. (本社:ボーズマン、米国モンタナ州)と、武田アメリカ・ホールディングス Inc. (当社の 100%子会社)が LigoCyte 社を買収することについて合意しましたので、別紙の通りお知らせします。

以上



News Release

2012 年 10 月 5 日

武田薬品による LigoCyte 社の買収を通じたワクチン事業の強化について

武田薬品工業株式会社(本社:大阪市中区、以下「武田薬品」)と LigoCyte Pharmaceuticals, Inc.(本社:ボーズマン、米国モンタナ州、以下「LigoCyte 社」)は、このたび武田アメリカ・ホールディングス Inc.(武田薬品の 100%子会社、以下「武田アメリカ・ホールディングス」)が LigoCyte 社を買収することについて合意しましたのでお知らせします。今後、武田アメリカ・ホールディングスは、必要な手続き等を経て、数週間以内に買収を完了する見込みです。本買収契約に基づき、武田アメリカ・ホールディングスは契約一時金として 60 百万米ドルを LigoCyte 社に支払います。また、武田薬品は将来、開発の進捗に応じたマイルストーンを支払う可能性があります。その他の経済条件は開示しておりません。

LigoCyte 社は、独自のウイルス様粒子(Virus-Like Particle: VLP)技術に基づく新規ワクチンの開発に特化しているバイオ医薬品企業です。同社の VLP 技術は、様々な遺伝子型のノロウイルスに対してワクチン作製を可能にするものであり、既にワクチン投与後にノロウイルスを負荷投与する臨床試験で予防効果が見られています。米国、欧州、その他の各国での承認を目指して、現在、臨床第 1/2 相試験を実施しています。

近年、ノロウイルスは、発展途上国における胃腸炎および食中毒の最大の原因として認識されつつあります。例年、医療・長期療養施設・小児保育施設、客船などで下痢が流行することにより、それらの施設が閉鎖を余儀なくされるなど、混乱を招くとともに経済上の大きな問題となっています。また、米国疾病管理予防センターによると米国では、毎年 21 百万人の感染者が発生しています。

今回の買収により、武田薬品は、グローバルなワクチン市場でのプレゼンスを向上させ、ワクチンパイプラインを強化できるだけでなく、武田薬品の開発、販売基盤を活用し、そのパイプラインの着実な上市、販売を実現することで、持続的成長が可能となります。

武田薬品のワクチンビジネス部長である Rajeev Venkayya は、「LigoCyte 社買収は、当社のワクチン事業拡大に向けた大きなステップであり、世界中の小児および成人の疾病予防への取り組みを一層推進するものです。ノロウイルスは米国における胃腸炎および食中毒の最も多い原因であり、毎年、発展途上国を中心に 20 万人もの患者さんの死亡原因となっています。当社は、今回の買収により、臨床開発段階にある唯一のノロウイルスワクチンを獲得しました。今後、鋭意開発を進めて、ノロウイルス感染による患者さんを減らすことに取り組んでまいります」と述べています。

武田薬品の取締役 チーフ メディカル&サイエンティフィック オフィサーである山田忠孝は、「LigoCyte 社買収は、革新的なワクチンの開発を通じて、世界の公衆衛生向上に貢献するという当社の使命を具現化するものです。ノロウイルスは世界中で重篤な感染症を引き起こしていますので、その予防が可能となるよう全力で取り組んでまいります」と述べています。

LigoCyte 社の CEO である Donald P. Beeman は、「研究開発型のリーディングカンパニーであり、ワクチンを重点領域の一つに掲げるタケダグループの一員となることを大変嬉しく思います。ノロウイルス感染症の予防に向けて、タケダグループと当社の専門性を融合させ、ワクチンを開発し、タケダグループのワクチン事業の長期的な成長に寄与してまいります」と述べています。

なお、LigoCyte 社は、ノロウイルスワクチンに加えて、RS ウイルス(respiratory syncytial virus:呼吸器合胞体ウイルス)ワクチン、インフルエンザウイルスワクチン、ロタウイルスワクチンを開発しており、前臨床段階にあります。

LigoCyte 社の事業の継続性を保持するため、経営陣および従業員も引き続き同社に在籍し、所在地であるボーズマンで業務を行います。また、武田薬品との統合完了後、LigoCyte 社は武田薬品のワクチンビジネス部の傘下に入り、Beeman はワクチンビジネス部長 Venkayya に直接レポートを行います。

記

1. 取得の方法および日程

(1) 株式取得の実施者：武田アメリカ・ホールディングス Inc.

(2) 株式取得の対象者：LigoCyte 社の株式保有者(※)

※ Forward Ventures、JAFCO、Novartis Venture Fund、Fidelity Biosciences、MedImmune Ventures、Athenian Venture Partners、MC Life Sciences Ventures (Mitsubishi International Corporation)、GlaxoSmithKline

(3) 株式の取得方法：現金

(4) 発行済株式総数：普通株・優先株合計 121,761,569 株(普通株換算)

(5) 買収価額：一時金として 60 百万米ドル支払った後、将来、開発の進捗に応じたマイルストーンを支払う可能性がある。

(6) 取得完了予定日：2012 年 11 月末まで

(7) ファイナンシャルアドバイザー：(武田薬品)なし

(8) リーガルアドバイザー：(武田薬品)Polsinelli Shughart LLP

(9) ファイナンシャルアドバイザー：(LigoCyte 社)Sagent Advisors LLC

(10) リーガルアドバイザー：(LigoCyte 社)Cooley LLC

2. LigoCyte 社の概要

(1) 名称：LigoCyte Pharmaceuticals, Inc.

(2) 所在地：米国 モンタナ州 ボーズマン

(3) 代表者の役職・氏名：CEO 兼取締役 Donald P. Beeman

- (4) 設立年： 1998 年
- (5) 資本金： 10,000 米ドル
- (6) 資本剰余金:1,371,516 米ドル
- (7) 株式の種類： 非上場
- (8) 従業員数： 約 40 名
- (9) 当社との関係： LigoCyte 社との間には、資本・人的・取引関係において記載すべき事項はない。

本買収が当社の 2013 年 3 月期の連結業績に与える影響は軽微であり、現時点では当該期の連結業績予想の変更はありません。

<ウイルス様粒子(VLP)技術について>

LigoCyte 社では VLP 技術に基づき、効率的に幅広い種類のワクチンを生産するコア技術を確立しています。VLP はウイルスタンパク膜の表面構造を模倣し、VLP 抗原を持つことで免疫システムにウイルスと同じものと認識させる一方、VLP 自体はウイルス増殖に必要な DNA あるいは RNA を持っていないため、自己複製できず感染能力がありません。実際のワクチンに近い構造のウイルス抗原である VLP ワクチンを投与された人体は、VLP ワクチンを実際のウイルスと認識し、感染を予防するための免疫反応を惹起します。

<LigoCyte 社について>

LigoCyte 社は、消化器および呼吸器系疾患に対するワクチンの開発に特化した、非上場のバイオ医薬品会社であり、民間からの投資資金に加えて、国立衛生研究所や国防総省からも助成金を受け、ワクチン開発に取り組んでいます。

<報道関係問い合わせ先>

武田薬品工業株式会社

コーポレート・コミュニケーション部(広報・IR)

Tel:03 3278 2037

武田ファーマシューティカルズUSA Inc.

Jocelyn Gerst

Tel:224-554-5542

LigoCyte Pharmaceuticals, Inc.

Tel: 406-585-2733

info@ligocyte.com